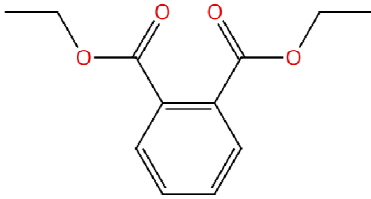


化学物質管理のための濃度基準値及び測定方法

No.2024_84-66-2

物質名 (CAS)	フタル酸ジエチル (84-66-2)			
濃度基準値	八時間濃度基準値	30 mg/m ³	短時間濃度基準値	—
物性等	分子量	222.24	構造式	
	融点	-40.5°C		
	沸点	295°C		
	密度	1.120 g/cm ³ (25°C)		
	飽和蒸気圧	0.22 Pa (25°C)		
	飽和蒸気圧濃度	2.17 ppm		
	飽和蒸気圧濃度/濃度基準値	0.66		

SciFinder®: 厚生労働省、職場のあんぜんサイト、GHS対応モデルラベル・モデルSDS情報。

測定方法の一例

以下に示す測定方法は、文献調査等を基に作成された一例であり、利用に当たっては、使用者が事前に確認を行う必要がある。

測定方法	
ろ過捕集方法及び固体捕集方法—ガスクロマトグラフ分析方法	
文献情報	
タイトル	DIMETHYL PHTHALATE (DMP), DIETHYL PHTHALATE (DEP), DIBUTYL PHTHALATE (DBP), DI-2-ETHYLHEXYL PHTHALATE (DEHP), DI-n-OCTYL PHTHALATE (DNOP) Method No. 104
著者	OSHA
資料名	OSHA Sampling and Analytical Methods
巻, 頁 (出版年)	-, - (1994)
備考	—
捕集	
サンプラー	OVS (ガラス繊維フィルター、Tenax TA : 70 mg/140 mg)
捕集流量	1.0 L/min
捕集時間	240 min
採気量	240 L
分析	
前処理方法	抽出/脱着溶媒: トルエン 4 mL 内部標準: 0.36 mL/L 1-フェニルドデカン 操作: ガラスファイバーフィルター、前層のTenax樹脂、中間のプラグと後層のTenax樹脂、後層のプラグをそれぞれ別のバイアルに移し、それぞれ内部標準を添加した脱着溶媒を加える。メカニカルシェーカーで30分間振とう。
分析方法	装置: ガスクロマトグラフ-水素炎イオン化検出器 (GC-FID) カラム: HP-1 (5 m, 0.53-mm i.d., 2.65- μ m film)

評価			
測定範囲	評価基準	1. 測定範囲が濃度基準値の1/10から2倍の範囲をカバーすること。	
	採気量	60 L	
	濃度範囲	0~40 mg/m ³	
	評価結果	測定範囲が濃度基準値の0.1倍から1.3倍の範囲をカバーしている。高濃度では試料を希釈する。	
抽出/脱着率 又は添加回収率	評価基準	1. 濃度基準値の1/10の濃度で捕集剤からの脱着率や添加回収率が75%より良好であること。	
	濃度	1~40 mg/m ³	
	抽出/脱着率又は添加回収率	98.6~100.3 %	
	評価結果	○	
保存安定性	評価基準	1. 濃度基準値の1/10から2倍において、捕集試料の冷蔵時の保存安定性が90%を超えること、または溶液試料としてその値を確保できることが推測されること。	
	濃度	1.25 mg/m ³	1.25 mg/m ³
	保存条件	室温(約22℃)	冷蔵(5℃)
	保存日数	0~15日	0~15日
	保存率	89.1~103 %	86.8~105 %
	評価結果	濃度基準値の0.04倍において、捕集試料の冷蔵時の保存安定性が90%を超えている。低濃度でも安定している。	
破過	評価基準	1. 濃度基準値の2倍の濃度で破過なく測定できる条件があること。	
	濃度	14.23 mg/m ³	
	採気量	480 L	
	破過の有無	無 (5%破過点の記載あり)	
評価結果	濃度基準値の0.47倍の濃度で破過なく測定できる。		
備考	-		
測定上の注意点	<ul style="list-style-type: none"> ・フタル酸ジエチルや使用する試薬についてラベルやSDSを最初に確認し、作業のリスクに応じてドラフト、適切な保護具の使用等のばく露低減対策を講じる。 ・フタル酸ジエチル、トルエンは皮膚等障害化学物質であるため、作業手順に応じて適切な化学防護手袋を着用する。 		

その他の測定法

-